1　概況

## 普及率

令和４年度末における本県の水道普及率は、総人口1,177,487人に対し、給水人口が1,114,142人で94.6％（飲料水供給施設を含めると94.7％）となっている。

内訳は、上水道が92.3％、簡易水道が1.9％、専用水道が0.4％となっている。

また、市町村別の普及率は、市部が95.4％、町部が90.6％、村部が96.3％である。

## 水道事業の数

水道事業数は、上水道が28事業（対前年増減0）、簡易水道が26事業（対前年増減0）の計54事業となっている。

また、専用水道は115施設となっている。

この他、水道用水供給事業は１事業となっている。

本県においては、簡易水道の統合が進んだものの、依然として中小規模の水道事業が多く、計画給水人口が1,000人以下の簡易水道が18事業となっており、上水道事業及び簡易水道事業数の33.3％を占めている。

## 水源の種別

上水道においては、年間取水量148,576千ｍ3に対し、表流水が48.4％、伏流水等の地下水が48.6％、受水が3.0％となっている。

また、簡易水道においては、年間取水量3,113千ｍ3に対し、表流水が80.4％、伏流水等の地下水が19.7％となっている。

なお、簡易水道のうち、伏流水等の地下水のみを水源としており、浄水方法として消毒のみを行っている実績年間給水量は132千㎥であり、総実績年間給水量の5.1％を占めている。

## 水道料金と経営状況

上水道における10ｍ3当たりの料金は、宮古市が1,067円で最も安く、二戸市が2,667円で最高料金となっている。

損益をみると、赤字経営であった事業体が、28事業体中５事業体となっている。

一方、簡易水道における10㎥当りの料金は、野田村が1,480円で最も安く、二戸市が2,667円で最高料金となっている。